



続・大学の 奈良ガイド

第38講

学校が 建っている場所は その昔……

講師 宮路淳子(奈良女子大学教授)

学校や公共機関の広大な敷地で、
長期にわたって行われる大規模な発掘調査。
身近な場所から出土する
奈良だからこそその超一級の遺跡の数々を紹介。

■あの人の家もあの施設も……
学校の下に眠る都の遺跡
奈良市内は古代に宮が置かれ、条坊が施行された計画的な都市景観を有していた都があったことは、皆さんよくご存知でしょう。今でも地面の下には、多くの遺跡が眠っています。では、子どもたちが毎日通う学校が、その昔どんな場所だったか、ご存知ですか？

■一条高校一帯に広がる ハインな人々の住宅街

西ノ京丘陵に建つ奈良県立西の京高校は、弥生時代後期にはムラが営まれていました。高台に設けられた集落で、六条山遺跡と呼ばれ一部が校内に保存されています。

奈良市立一条高校は、平城京条坊復原で左京一条三坊十三坪に位置します。校内では、条坊の坪境にあたる場所に

あるはずの道路がなく、大型建物・井戸などを造成していることから、二つの坪を広々と使った大邸宅の存在が考えられています。日本最初の公開図書館「芸亭」(奈良時代の文人貴族であった石上宅嗣(729～781)が晩年、邸宅を改築し阿闍寺とし、その一角におさめた仏教外典などを公開した。写真1)が現在の一条通りよりも南側にあったことが推定されており、いすれにしても一条高校とその周辺は、奈良時代の貴族階級の住まう高級住宅街だったようです。

奈良市立大安寺西小学校は、平城京左京五条二坊十四坪に建ちます。ここでは坪一町全城を広く使って、主殿を中心にコの字型に整然と配置された建物跡が見つかりました。横組みと縦組みという二重構造になった井戸からは、檜扇

他には正倉院宝物にしか見られないような大変珍しいものが出土していることから、宮と特別に関係の深い公的な建物、あるいは貴族の邸宅があったと考えられています。

坊六坪にあたります。主殿、脇殿と名付けられた建物跡が整然と配置されて発見され、やはり貴族の邸宅跡と考えられています。この遺跡からは、和同開珎5枚、舟形墨、竹筆管、刀子柄、古裂が納められ

た胞衣壺(たむご)が出土しました。その内容は、九条道家(1193～1252)の日記『玉葉』に記される、胞衣を埋納する作法にとても近い様子を示しています。このような風習は、奈良時代に中国から入ったと考えられ、高い教養を身につけた人物が生活していたことがうかがえます。

■仲麻呂・久秀・長屋王…… いわくつきから奉行所まで

三笠中学校は、藤原仲麻呂(706～764)の大邸宅「田村第一」に一部重なります。左京四条二坊に広大な邸宅を設けた藤原仲麻呂は、太政大臣までつとめましたが左大臣橘諸兄と対立、764年に乱をおこし、最後は近江で敗死しています。

佐保川小学校は左京二条四坊に位置します。平城京内からは他で見つかっていない、甲斐国(山梨県)で作られた土師器の杯が出土しています(写真3)。甲斐国の出先機関(調邸)があったのではと考えられています。

若草中学校のある場所には、戦国時代の武将、松永久秀

(1510～1570)の多聞城が築かれました。今も正門前の坂道を登っていくと、当時の面影を感じる事ができます。松永久秀は、主君を裏切り大仏殿を焼失させるなどの所業から大変な悪人として語られてきましたが、近年の研究によりその人物像について見直しが進んでいます。

奈良女子大学は、江戸時代には奈良奉行所がおかれ、道をはさんで東隣に建つ学生寮には与力屋敷がありました。構内からは奉行所で使用されたお茶碗などの生活用品の他、奉行所がおかれる以前の、中世や古代に遡る遺物も数多く見つかっています。興福寺や東大寺にほど近い立地から、宿院や貴族の邸宅が存在していた可能性が考えられています。

学校ではありませんが、今年9月に閉店したイトーヨーカ堂は左京三条二坊にあり、約3万5000点も出土した木簡の内容から、長屋王(684～729)、長屋王の変により自殺)の邸宅があったことが分かっています。大和郡山市九条公園には奈良時

代の官営工房とも目される、鑄造加工や漆工製作を行っていた工房群がありました。

■身近な場所に歴史はある 未来に伝えたい古代の息吹

学校や公共施設の敷地は、発掘で一度に調査できる面積が広いので遺跡の性格が分かりやすいということもあり、子どもたちが毎日通う学校が、良い立地を選んで建てられているということも、重要な遺跡が見つかったという要因の一つでしょう。普段見慣れた場所が遺跡だったなんて、さすが奈良ですね。子どもたちにもぜひ知って欲しいと思います。少し違った角度から、今いる場所を改めて知ること、日常のすぐ隣にある歴史への想いが広がります。



写真1「芸亭」碑。後ろは一条高校

【講師紹介】
宮路淳子/みやじ あつこ
東京都出身。奈良女子大学文学部人文社会科学科教授(古代文化学コース)。専門は考古学
ひとこと: 大学所蔵の明治・大正・昭和初期の古い教材資料の整理をしています。毎年春と秋に、大学構内にある記念館(重要文化財)の一般公開時に展示を行っていますので、ぜひ見学にお越しください。